

申し合わせ事項

スミセイVitalityカップJVA第46回全日本バレーボール小学生大会 静岡県大会 東部地区予選

総務・競技・審判関係

1. 開館時間は、別紙会場別役員表に記載のとおりとする。なお、車両については会場近隣の迷惑になるので、開門前には絶対に並ばない事。
2. 役員帯同チーム・会場管理担当及び会場運営担当チーム以外のチームは、開館時間になり次第会場への入場を認めます。
なお、開館時間になっても会場設営が出来ない場合は、会場外もしくは会場内待機場所に待機し、絶対にフロア内に入らない事。
上記開館時間及び競技前の練習については、会場競技委員の指示に従う事。
3. 会場管理担当と会場運営担当のチームは、役員集合時間に会場設営等で体育館内に入ることはできるが、体育館内での練習は認めない。
4. 大会使用球は、ミカサ (V400W-L)、モルテン (V4M5000-L) で、各チームからの持ち寄りとし、**男子・混合をミカサ、女子をモルテンで行う。**
また、ボールの内気圧については6人制競技規則に準じ、審判役員が開会式前にはチェックを済ませること。(基準…0.31kg/cm²または310hPa)
5. ベンチスタッフのうち1名以上は成人であること。またベンチスタッフの1名以上は、JVAベーシックコーチライセンス取得者、(公財)日本スポーツ協会認定バレーボールのスタートコーチ・コーチ1~4のいずれかの資格取得者でなければならない。
又、試合時には証明書等を胸にさげていなければならない。
監督会議において指導者資格証を確認するので、会議に出席する者は必ず資格証を持参すること。
大会当日に指導者資格を有する者が何らかの事情により1日を通してベンチ入りできなく、その他のベンチスタッフが指導者資格を有していない場合は、大会指導の代行申請書により指導者資格証を貸与する代役を選出して出場すること。(東小連の特別ルール)
その際に代役とする者は「2026年度審判伝達講習会」を受講した者であり、2026年度審判伝達講習会資料及び2026年度ルールブックを熟読した者とする。そしてその旨を監督会議において会場責任者及び会場競技委員に伝えて承認を得ること。
6. ベンチスタッフの服装は統一し、各規定の章を見えやすい位置に付けること。ただし、ベンチスタッフの内高校生以下の場合は服装の統一はしなくてもよい。また小中学生の場合についても服装の統一はしなくても良い。ベンチスタッフは、規定のスタッフ章を左胸部に付けること。
7. 申込書に記載された選手は、当日提出する構成メンバー表と同じメンバーになる。選手については、1日目番号のみ変更できる。
スタッフの変更は、1日目、2日目ともに変更は認められるが(東小連の特別ルール)、その日の変更届提出後の変更は認められない。
8. **セーフティータイムアウト (ST0) の際、プレー中の選手及び控えの選手はベンチ横からウォームアップエリアの位置に30秒間とどまること。**
*本大会については、セーフティータイムアウトを導入します。選手の健康と安全のために適用されるものであることを再確認し、選手の給水や健康観察を最優先させること。(いままで通り、第1セット及び第2セットについては11点、第3セットは8点でとることとする。)
9. **今大会については、全試合プロトコルを採用し、試合開始前の公式ウォームアップを行う。**
10. 今大会については試合間は5分とする。(コートチェック後から5分)
試合が連続する場合は、前試合終了後5分間は休息时间とし、その間はボールを使用しないウォーミングアップは認める。(休息时间5分+試合間5分=合計10分) 競技委員の合図でボールを使用した練習を開始する。
なお、試合が連続するチームもボールを使用しないウォーミングアップは認める。ただし、選手の様子をみて休息を取るよう配慮すること。
11. **今大会については公式記録を実施する。**そのため、各チームは「2026年度審判伝達講習会」を受講した者、2026年度伝達講習会資料及び2026年度ルールブックを熟読した審判担当者・記録担当者を2日間とも帯同させること。
審判服については、今大会は原則着用とする。なお、必ず審判員章(ワッペン)を付けること。なお、審判員章の貸与は不可とする。
なお、東部地区予選に限り、黒・紺系のジャージについては、スラックスとして認める。
12. 昼休み時間は、コートごと30~40分間の休憩を取ることを基本とする。その際、**プロトコル15分前から**ボールの使用を許可する。
昼休み中のボールの使用については、ネットを越えない形で使用し、プロトコル5分前からは次の試合をするチームがコートを使用する。
13. 他グループの試合終了(次の対戦相手)を待っている間は、コートが空いていてもウォームアップを含む練習を禁止する。
14. 各チームは、開始式前に構成メンバー表、スタッフ変更届等必要書類を、必ず会場競技委員に提出すること。
15. 各チームは、開始式前にビデオ撮影許可申請書(必要な場合)を必ず会場総務委員に提出すること。(HPから取得。)
ビデオ撮影許可申請書については、連名で構いません。撮影許可証を、必要枚数会場総務委員からもらい貼付すること。
16. 申し合わせ事項の内容については、1日目・2日目とも共通とする。。

申し合わせ事項（追記）

スミセイVitalityカップ第46回全日本バレーボール小学生大会静岡県大会東部地区予選

- 1 今まで各チームの人数制限を設けておりましたが、**本大会については人数制限を設けません。**
しかしながら、引き続き感染リスクもある事をご理解の上、個人及び各チームは対応をお願い致します。
- 2 本大会は、「健康調査一覧表」は提出義務はありませんが、各チームで選手の健康状態の確認を行って下さい。
- 3 **観戦については、小中学校の施設を利用するため、鳴り物等を使用しての応援は本大会に於いては禁止とします。（メガホン、スティックバルーンも含む）また、個人及び各チームは節度ある応援をお願い致します。**
当該チームの観戦者が観戦する場所は、フロア審判側の後方に距離をとり観戦願います。（観覧席及びキャットウォークがある場合を除く。）
- 4 熱中症等を考慮し、こまめに換気をお願いいたします。
- 5 当日、会場に来られない保護者等を考慮して、BAND等を使用してのライブ配信について認めます。（ビデオ撮影許可申請書の提出は必要です。）
- 6 ベンチ後方に荷物を置く場合は、極力最小限とし、給水用のボトルケースのみとする様お願い致します。

※1 監督は、自チームのアタックラインの延長線からウォームアップエリアまでのフリーゾーン内で、立ちながらも歩きながらも指示を出すことができる。この時、ラインジャッジの視界を遮ってはならない。（全日本大会のみ適用する）

・・・そのため、狭くても良いので全会場ウォームアップエリアを作成願います。

※2 ペネトレーションフォールトについて・・・相手コートに侵入している片方の足（両足）の一部が、センターラインに触れているかセンターライン真上にあれば、この動作が相手チームのプレーを妨害しない限り、足首よりどの部分が相手コートに触れてもよい。
（全日本大会のみ適用する）

※3 ウェア等公認制度が本大会は導入されますので、確認願います。（日小連HP 競技関係情報・各種様式参照）

※4 混合のユニフォームについて・・・男女の違いが、相手チーム、観客、レフェリーからみて明瞭に区別できるようにカラーやデザイン面に注意する必要があります。男女で違うユニフォームならば良いですが、同じデザインの場合、「JVAユニフォーム規定詳細」にあるリベロプレーヤーのユニフォーム①～③を参照願います。※識別バンドやソックスの色での区別だけでは不可となります。

※5 ベンチスタッフの服装・・・襟の有無は問いません。（Tシャツでも可）

しかし、タンクトップのような形状のシャツ類、短パン、ハーフパンツは許可されません。

申し合わせ事項（追記）については、1日目・2日目とも共通とする。

なお、上記内容については、公平性を考慮し、全会場共通事項と致します。